

「味どうらくの里」使用 **コーラに合う料理いかが** 秋田栄養短大生ら考案



県民におなじみの万能つゆ「味どうらくの里」を使ったコカ・コーラに合う料理の実食体験会が、秋田市のアルヴェで開かれた。唐揚げやスパゲティなど 5 品が提供され、参加者が料理とコーラの組み合わせを楽しんでいた。

食の楽しさや新しさを知ってもらおうと、みちのくコカ・コーラボトリング(盛岡市)が主催し、ユナイトホールディングス(HD、秋田市)、東北醤油(大仙市)と共同で企画した。料理は「卒業・入学シーズンにピッタリなパーティーレシピ」をテーマに、秋田栄養短期大学(秋田市)の学生らが考案した。

実食体験会は 26 日に開かれ、ユナイトHDが展開するスーパーで実施したキャンペーンの当選者約 10 人が参加した。開催に先立ち、みちのくコカ・コーラボトリングの佐藤茂正本社営業本部長は「味どうらくの里の深いうまみとコカ・コーラの爽やかな味わいのマリアージュを楽しんでほしい」と呼びかけた。提供された料理は「唐揚げ部門」が「新食感！はんぺんポテから揚げ」と「フィッシュ&チップス～いぶりがっこソースを添えて～」の 2 品、「春のパーティーレシピ部門」が「とろ～りチーズのトマトスパゲティ」「ワイルドにがつつり食べる骨付きスペアリブ」「新生活わくわくケーキ」の 3 品。レシピを考案した学生がこだわりや手軽さをアピールした後、参加者はじっくりと料理を味わっていた。

娘と参加した由利本荘市の佐藤里理さん(46)は「味どうらくの里が幅広く活用できることに驚いた。簡単に作れそうだったので家でも試してみたい」と話した。同短大の阿部絢音さん(2年)は「緊張したが、皆さんが食べているところを見られてよかった」と語った。(伊藤優花)

